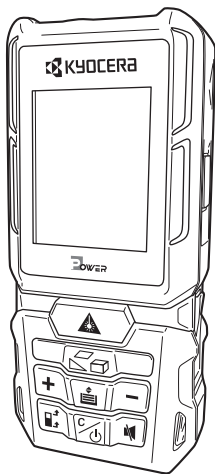


レーザー距離計 LDM-610

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1
■本製品について	
各部の名称	4
仕様	7
用途	8
付属品	8
■準備	
電池を取付ける	9
■使い方	14
電源を入れる	15
基準を選択する	17
測定する	21
距離を測定する	22
連続測定する	23
面積を測定する	24
容積・体積を測定する	26
辺測定（2辺, 3辺）	28
自動測定	34
自動高さ測定	36
測定値の加算 / 減算	38
履歴機能	40
三脚を使用して測定する	41
■本機の精度チェック	41
■困ったときは	
故障かな?と思ったら	42
■保守と点検	43
■保証規定	45
■保証書	46

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の
注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全に
ご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

69801094-00

安全上のご注意

- 火災、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

1. レーザー光を直接のぞかないでください。
2. 光学補助機器（例えば、双眼鏡や望遠鏡など）でレーザー光を直接見ないでください。
 - ・目を痛めるおそれがあります。

警告

3. 鏡のように反射したり、不意の反射を受けそうな場所（例えばプリズム、鏡、金属面、窓ガラス）にレーザー光を向ける際、反射されたレーザー光を直視しないでください。
4. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
5. 取扱説明書に記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。
6. 測定を行なう場合は安全な測定場所を確保してください。
7. レーザー光が人や動物に向いていないことを確かめて、本機を使用してください。
8. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
9. 使用中に異常が疑われるときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
10. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
・発火したり、異常作動してけがの原因になります。
11. 子供や製品知識を持たない方には使用させないでください。
12. 単4形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
13. 単4形アルカリ乾電池は充電しないでください。
14. 単4形アルカリ乾電池を入れたまま、外部電源（モバイルバッテリーなど）に接続して使用しないでください。
USB ポート（Type C）へ接続するときは、単4形アルカリ乾電池は取外してください。
・電池を入れたまま使用すると発火したり、異常作動して火災やけがの原因になります。

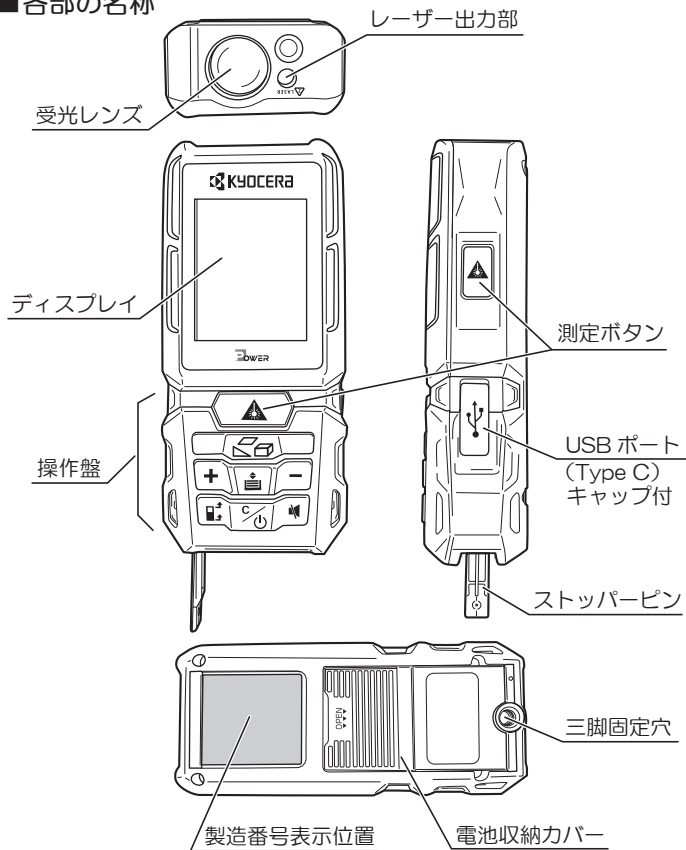
⚠ 注意

1. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
 - ・使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - ・ハシゴを使用しているときや稼働中の機械の近く、保護されていない機械部品や設備の近くで測定する場合に、足場上で、故意または無責任な行動をとらないでください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ・子供に本機を使用させないでください。
4. 雨や水にぬらさないでください。
 - ・性能や寿命が低下し、故障の原因になります。
5. 高温または低温になる場所や急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
7. 点検は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - ・点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

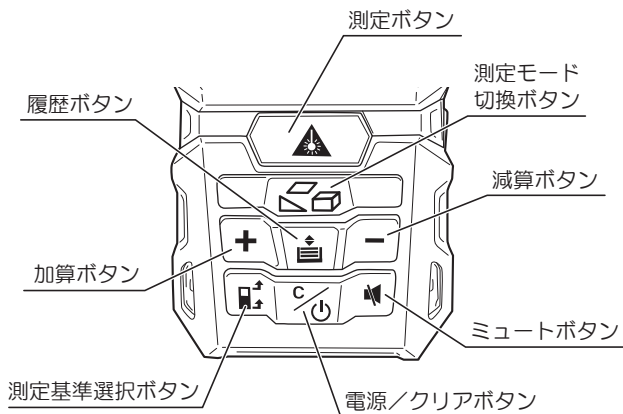
■各部の名称



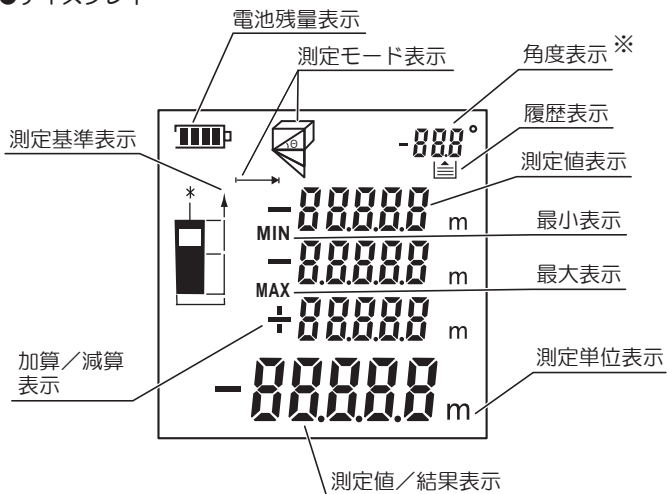
※イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本製品について

●操作盤

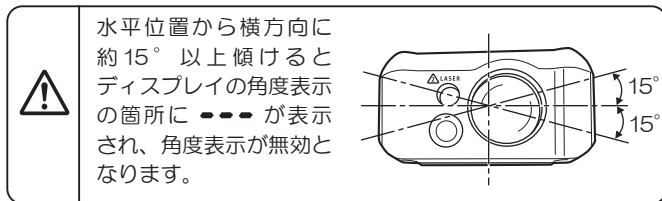


●ディスプレイ



※ 角度表示について

測定時に高さ方向の角度が確認できます。



本製品について

■仕様

型番	LDM-610
測定可能範囲	0.2 – 60m ※1
測定精度	± 2.0 mm ※2
最小測定単位	1 mm
使用測定単位	m
使用温度範囲	0 – 40℃
レーザークラス	2
レーザーの種類	630 – 670 nm , < 1mW
防じん・防水構造	IP65 (電池収納部を除く)
本体寸法 (長さ×幅×高さ)	120 × 55 × 28mm
質量	150 g (電池を含む)
電源	単 4 形アルカリ乾電池 2 本 ※3
自動電源オフ レーザー光 本体	約 30 秒 約 3 分
レーザー測定基準	本体後方端部, 本体三脚穴, 本体前方端部, ストッパーピン先端部
USB 入力	DC 5.0V / 2.1A 以上 (USB Type C)

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

- ※1 測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や、使用周囲の明るさにより異なります。測定対象表面からの拡散反射（鏡反射ではない）が確保され、レーザー光と周囲との明るさの差が大きい、屋内、暗い場所などでその測定能力を発揮します。強い直射日光が当たるなど、測定に不利な環境で使用する場合は、必要に応じて測定対象表面を白い紙で覆うなどしてください。
本体の前方端部を基準にした場合、0.2m から測定可能です。
- ※2 悪条件下（強い太陽光、反射の弱い対象物、不安定な周囲の温度等）での測定では、測定値が± 5mm まで悪化する場合があります。
- ※3 電池は付属していません。

■用途

- ・距離、面積、体積、辺（ピタゴラスの定理）の測定

8つの測定モード

距離測定、面積測定、容積・体積測定、2辺測定
3辺測定①、3辺測定②、自動測定、自動高さ測定
(21～37 ページ「●測定する」参照)

※加算・減算、履歴機能があります。

(38～39 ページ「測定値の加算/減算」参照)
(40 ページ「履歴機能」参照)

■付属品

- ・ポーチ ……………1



準備

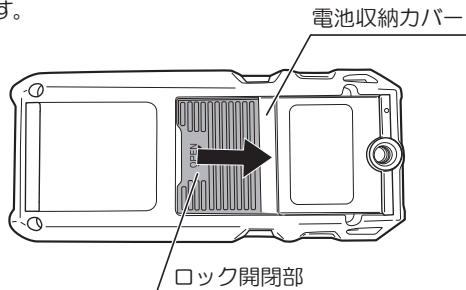
●電池を取付ける

⚠ 警告

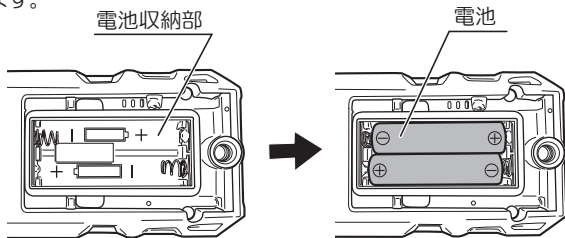
- ・電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ・電池を一般家庭ゴミとして棄てたり、火の中へ入れたりしないでください。

(取付け)

1. 電池収納カバーのロック開閉部を押しながら矢印方向にスライドさせ、開きます。



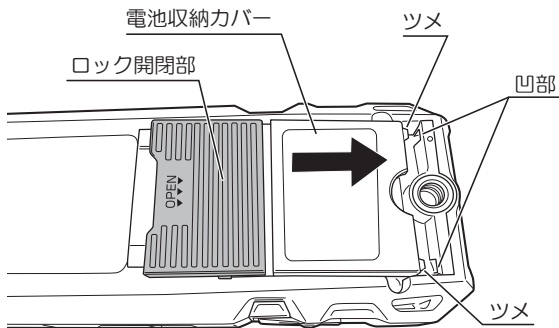
2. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取付けます。



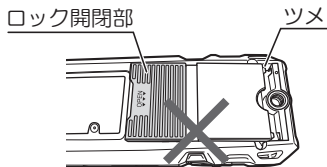


- ・電池は、単4形アルカリ乾電池を使用してください。
- ・電池を交換するときは、常に新しい電池を2本セットで交換してください。
この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。

3. 電池収納カバーのツメを本機の凹部にさし込んで電池収納カバーを閉じます。

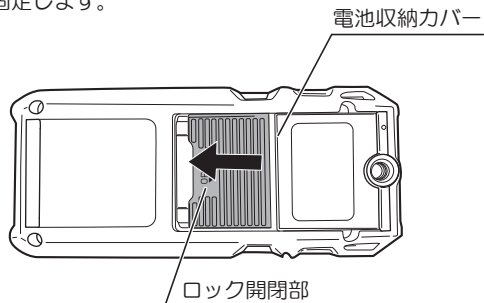


電池パック収納カバーを取付けの際は、ロック開閉部をツメ側に寄せてください。ツメ側に寄せていないと電池パック収納カバーが収まりません。



準備

4. 電池収納カバーのロック開閉部を矢印方向に押し上げ、スライドさせて固定します。



長期にわたって本機をご使用にならない場合は、本機から電池を取外してください。長期にわたって放置すると、電池の腐食（液漏れ）による本機の故障および自然放電につながります。

- 電池の取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。

(外部電源（モバイルバッテリーなど）に接続する場合）

電池がなくても外部電源（モバイルバッテリーなど）に接続して使用出来ます。

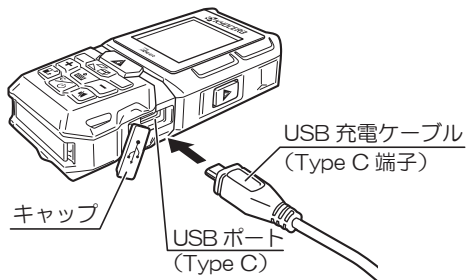
⚠ 警告

- ・ 本機の USB ポート（Type C）へ接続するときは、電池は取外してください。電池を入れたまま接続すると発火したり、異常作動して火災やけがの原因になります。



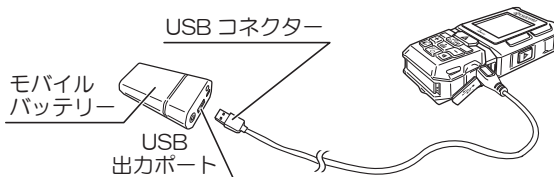
接続する USB 充電ケーブルが損傷していないことを確認してください。

1. お手持ちの USB 充電ケーブルの Type C 端子を本機の USB ポート（Type C）に接続してください。
 - ・ キャップを開いて、USB 充電ケーブルを奥までしっかりさし込みます。



準備

2. お手持ちの電源（モバイルバッテリーなど）の USB 出力ポートに USB 充電ケーブルのコネクターをさし込みます。



- お手持ちの電源（モバイルバッテリーなど）の取扱説明書をよくお読みのうえ、使用してください。
- 市販の電源（モバイルバッテリーなど）は、出力電圧 5.0V で、出力電流 2.1A 以上のものを使用してください。

使い方

⚠ 警告

- ・レーザー光を直接のぞかないでください。
- ・レーザー光が人や動物に向いていないことを確かめて、本機を使用してください。

⚠ 注意




- ・本機を水分や直射日光から保護してください。
- ・極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。

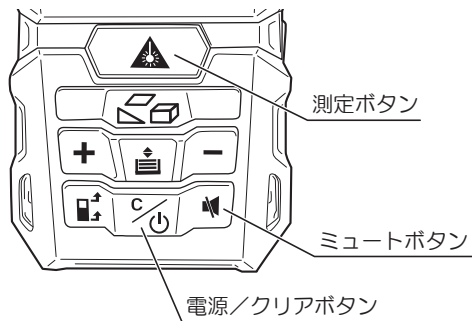
- ・測定するときは、レーザー光をさえぎるものがないことを確認してください。
- ・測定中は本機を動かさないでください。（連続測定モードは除く）
- ・測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ・測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。
日光照射の強い屋外で作業を行なう際には、照準対象面に影をつけるとレーザー光が見やすくなります。
- ・透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行なった場合、正しく測定できないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因になることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ・測定中にエラーが発生した場合は、原因を取除いてから、再度測定してください。（エラーの内容については42ページを参照ください。）

使い方


●電源を入れる

(スイッチの ON / OFF)

- ・スイッチ ON：電源/クリアボタン () を約 2 秒間、長押しします。
 - ・電源を入れるとレーザー光が照射され、ディスプレイにレーザー光照射表示 () が点滅します。
 - ・照射後、約 30 秒以上測定を行なわないと、レーザー光は自動的に切れます。
 - ・使用しない場合、約 3 分で自動的に電源 OFF になります。
- ・スイッチ OFF：電源/クリアボタン () を約 2 秒間、長押しします。



(外部電源（モバイルバッテリーなど）に接続する場合）


- ・ 外部電源に接続後、電源が入ります。
- ・ 測定ボタン（）を押すと距離測定モード（ \rightarrow ）に表示され、測定出来る状態になります。

さらに測定ボタン（）を押すとレーザー光が照射され、ディスプレイにレーザー光照射表示（↑）が点滅します。

(バックライト（照明）のOFF)

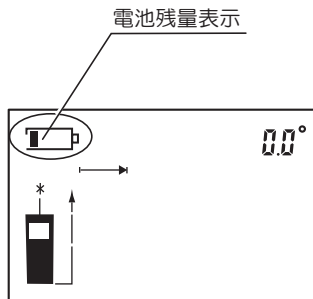
- ・ 約10秒でディスプレイのバックライトが消えます。
- 電源/クリアボタン（）を押すと点灯します。

(ミュートボタン)

- ・ ミュートボタン（）を押すと、電子音を ON/OFF できます。





(電池残量表示)

- ・ ディスプレイの電池残量表示を確認してください。
(電池新品時：4目盛)
電池残量が1目盛になったら、電池交換の時期です。
電池を交換するときは、同じメーカーおよび容量の新しい電池を2本セットで交換してください。



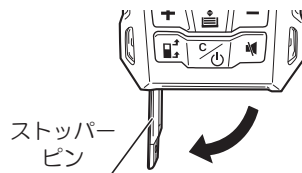
使い方

●基準を選択する

- ・“本体の後方端部 ()” “本体の三脚穴 ()”
“本体の前方端部 ()” “ストッパーピンの先端部 ()” の
4箇所を設定できます。

- ・測定基準選択ボタン () を押して基準を選択します。

- ※ ストッパーピンの先端部を基準にする場合は、ストッパーピンを開くと、先端部が基準になり、収納すると後方端部の基準になります。

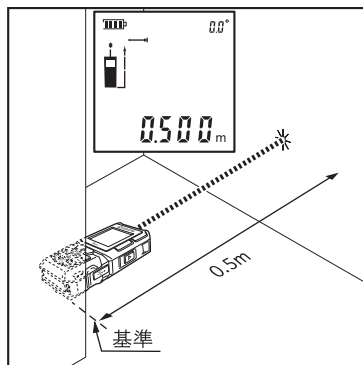


- ・一度任意の基準に設定した後は、基準を変更しない限り同じ基準で測定されます。
- ・電源を入れた直後は、電源 OFF したときの基準で表示されます。
※ ストッパーピンの先端部が基準で電源 OFF した場合は、電源を入れた直後は後方端部の基準になります。

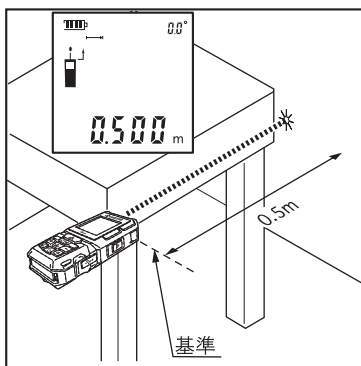


ディスプレイに選択した基準のマークが表示されているか確認してください。

本体の後方端部（壁に当てる場合など）



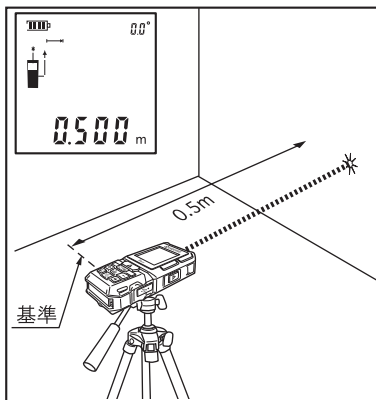
本体の前方端部（テーブルの角から測定する場合など）



使い方

本体の三脚穴（三脚を使用して測定する）

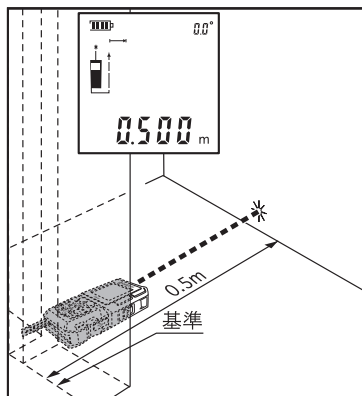
※ 41 ページ「●三脚を使用して測定する」参照



ストップパーピンの先端部（溝の底から測定する場合など）

- ・ストップパーピンを矢印方向に開くと、ストップパーピンの先端部が基準になります。

ストップパーピンの使用は、空間の隅から測定する場合（室内の対角線）や測定が困難な場所（シャッターレールなど）での測定に適しています。



ストップパーピンを収納するときは、本体側に倒して元の位置に戻します。



ストップパーピンは、不意に引っ掛かり破損するおそれがありますので、使用しない場合は収納してください。

使い方

●測定する

警告

- ・レーザー出力部が人や動物に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。





- ・電源を入れた直後は、距離測定モード (→) が選択されています。任意の測定モード (距離測定モードは除く) に設定する場合は、測定モード切換ボタン (→) を押してください。距離測定モード (→) に設定する場合は、電源/クリアボタン (C) を押してください。(測定モードは下表を参照ください)
- ・照射後、約 30 秒以上測定、操作を行なわないと、レーザー光は自動的に切れます。切れたときは、再度、測定ボタン (→) を押すと照射されます。
測定、操作を行なわないと、約 3 分で自動的に電源 OFF になります。
- ・ディスプレイの“測定モード表示”で点滅する辺は、これから測定する箇所 (辺) を示しており、測定が完了すると点灯に変わります。ただし、“距離測定モード”では点滅表示していません。

測定モード

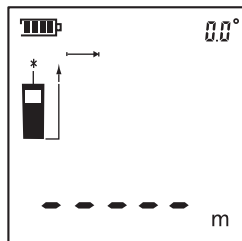
→	距離測定		3辺測定①
	面積測定		3辺測定②
	容積・体積測定		自動測定
	2辺測定		自動高さ測定

距離を測定する（レーザー測定）

1. 測定する基準を選択します。（17 ページ「●基準を選択する」参照）
2. 電源/クリアボタン（）を押して距離測定モード（）に設定します。

3. 測定ボタン（）を押して、レーザー光を照射させます。

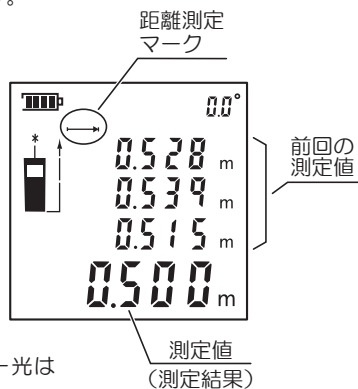
ディスプレイにレーザー光照射表示（* ↑）が点滅します。



4. レーザー光を目標面に当てます。

5. 測定ボタン（）を押して測定します。

- ・測定が完了すると、測定基準から目標面までの距離がディスプレイに表示されます。



6. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。







前回の測定値が上の段（3 回分）に表示されます。
電源を切ると測定履歴は消えます。

使い方

連続測定する

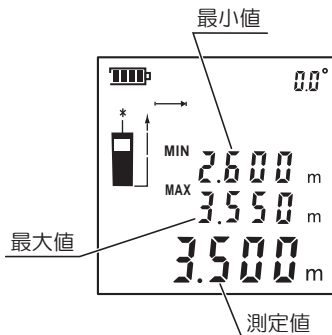
目標面（レーザー光の照射面）から測定基準までの距離をリアルタイムで測定することができます。

1. 目標面（レーザー光を照射する場所）を選択します。
2. 測定ボタン（）を約1秒間、長押しします。
レーザー光が照射され、ディスプレイにレーザー光照射表示（）が点滅します。
3. 測定値は約0.5秒ごとに更新されます。ディスプレイに希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。
4. 希望する距離が表示され、連続測定を終了する場合は、電源/クリアボタン（）または測定ボタン（）を押してください。

測定後、レーザー光は自動的に切れます。

最後の測定値と測定された最小値と最大値がディスプレイに表示されます。

5. 測定を続けるときは、再度、2～4の手順で測定します。
このとき、ディスプレイに表示されていた最小値、最大値、測定値はすべて消去されます。








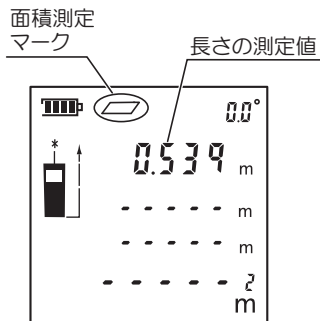


- ・連続測定は、約5分を経過するとレーザー光が自動的に切れます。
- ・照射ポイントを早く動かすとエラーになる場合がありますので、ゆっくり動かしてください。
(エラーの内容については42ページを参照ください。)


面積を測定する

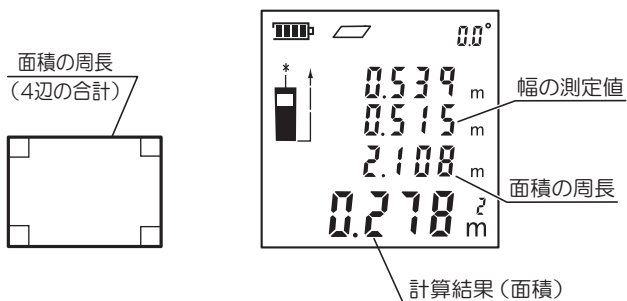
長さと同様に面積を求めます。

1. 測定する基準を選択します。(17ページ「基準を選択する」参照)
2. 測定モード切換ボタン () を押して面積測定モード () に設定します。
3. 測定ボタン () を押して、レーザー光を照射させます。
ディスプレイにレーザー光照射表示 () が点滅します。
4. レーザー光を長さの目標面に当てます。
5. 測定ボタン () を押して長さを測定します。
長さの測定値がディスプレイに表示されます。



使い方





6. レーザー光を幅の目標面に当てます。
7. 測定ボタン () を押して幅を測定します。
 - ・測定が完了すると面積の周長と面積の計算結果がディスプレイに表示されます。

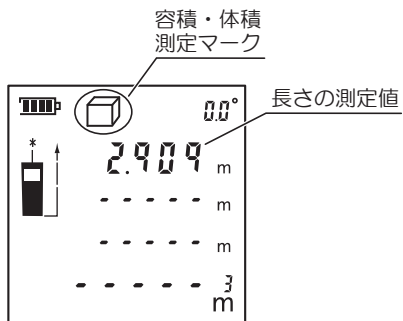


8. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。


容積・体積を測定する

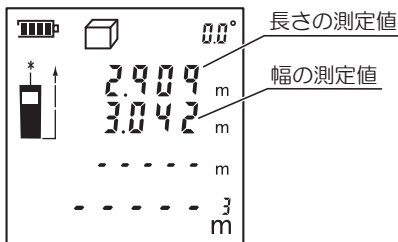
長さ、幅、高さを測定して容積・体積を求めます。

1. 測定する基準を選択します。(17 ページ「基準を選択する」参照)
2. 測定モード切換ボタン () を押して容積・体積測定モード () に設定します。
3. 測定ボタン () を押して、レーザー光を照射させます。
ディスプレイにレーザー光照射表示 (* ↑) が点滅します。
4. レーザー光を長さの目標面に当てます。
5. 測定ボタン () を押して長さを測定します。
 - ・測定が完了すると長さの測定値がディスプレイに表示されます。



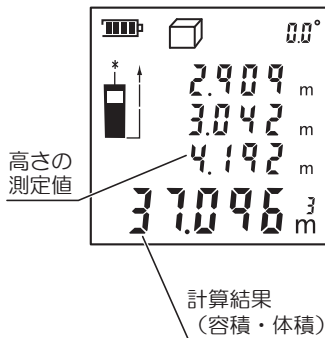
使い方

6. レーザー光を幅の目標面に当てます。
7. 測定ボタン () を押して幅を測定します。
 - ・測定が完了すると幅の測定値がディスプレイに表示されます。



8. レーザー光を高さの目標面に当てます。
9. 測定ボタン () を押して高さを測定します。

- ・測定が完了すると容積・体積の計算結果がディスプレイに表示されます。
(このとき、面積の値は表示されません)

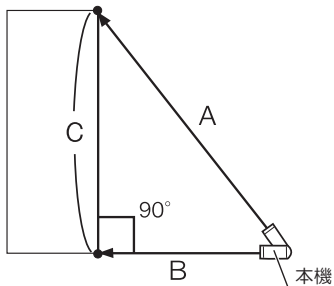






10. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
11. 繰り返し測定する場合は、上記 3～9項の手順で行ないます。

辺測定（2辺測定）

ピタゴラスの定理により離れた場所からでも、2ヶ所（2辺）の測定値により建物の高さや幅が測定できます。

障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線Aと水平距離Bを測定して離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅『C』を測定します。BとCは直角である必要があります。



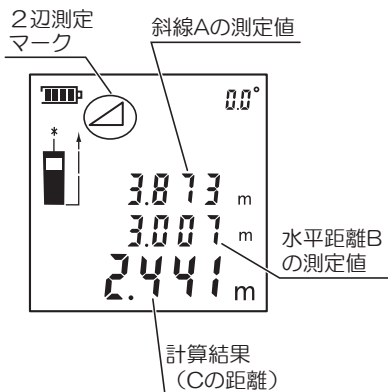
1. 測定する基準を選択します。（17 ページ「基準を選択する」参照）
2. 測定モード切換ボタン（）を押して2辺測定モード（）に設定します。
3. 測定ボタン（）を押して、レーザー光を照射させます。ディスプレイにレーザー光照射表示（）が点滅します。
4. 斜線Aを測定します。
5. 水平距離Bを測定します。



- ・ 2辺の測定は、同一の位置で行なってください。
- ・ 上記 4 項の B の測定は、測定対象 C に対して 90° になることが必要です。

使い方

水平距離Bの測定が完了した時点で、Cの距離の計算結果がディスプレイに表示されます。



6. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



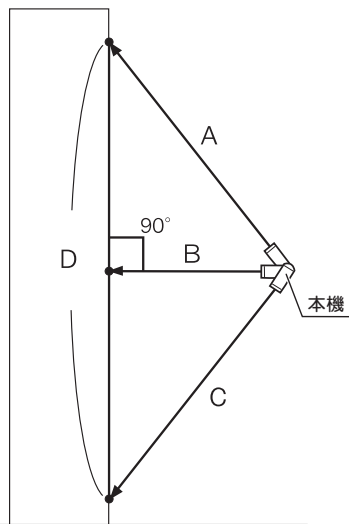
測定完了後、測定ボタン () を押すと、この2辺測定モードの測定結果がクリアされます。




※ 辺測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

辺測定（3辺測定①）

ピタゴラスの定理により離れた場所からでも、3ヶ所（3辺）の測定値により建物の高さや幅が測定できます。

障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線A、Cと水平距離Bを測定して離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅『D』を測定します。BとDは直角である必要があります。



1. 測定する基準を選択します。
（17ページ「基準を選択する」参照）
2. 測定モード切換ボタン（) を押して3辺測定モード①（) に設定します。
3. 測定ボタン（) を押して、レーザー光を照射させます。ディスプレイにレーザー光照射表示（↑）が点滅します。
4. 斜線Aを測定します。
5. 水平距離Bを測定します。

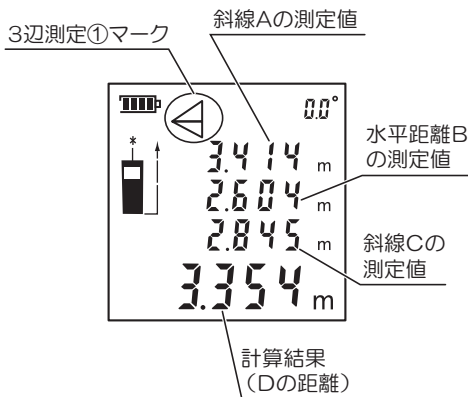
使い方

6. 斜線 C を測定します。



- ・3辺の測定は、同一の位置で行なってください。
- ・上記5項のBの測定は、測定対象Dに対して90°になることが必要です。
- ・AとCの長さが大きく異なると、測定エラーになります。

斜線Dの測定が完了した時点で、Dの距離の計算結果がディスプレイに表示されます。



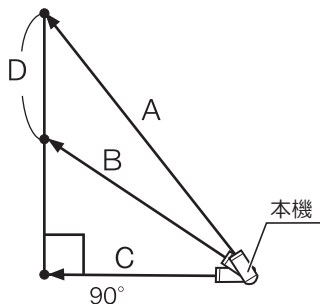
7. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。




※ 辺測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

辺測定（3 辺測定②）

ピタゴラスの定理により離れた場所からでも、3ヶ所（3 辺）の測定値により建物の高さや幅が測定できます。

障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線 A、C と水平距離 B を測定して離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅『D』を測定します。C と D は直角である必要があります。



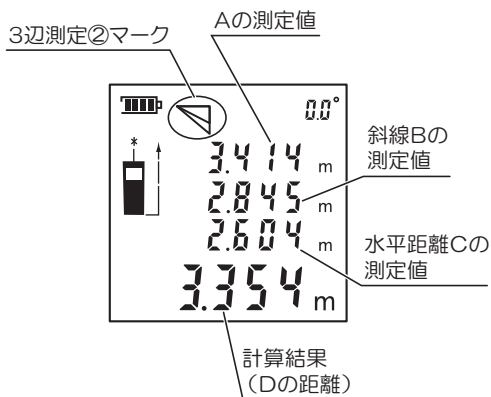
1. 測定する基準を選択します。（17 ページ「基準を選択する」参照）
2. 測定モード切換ボタン（）を押して 3 辺測定モード②（）に設定します。
3. 測定ボタン（）を押して、レーザー光を照射させます。ディスプレイにレーザー光照射表示（↑）が点滅します。
4. 斜線 A を測定します。
5. 斜線 B を測定します。
6. 水平距離 C を測定します。



- ・ 3 辺の測定は、同一の位置で行なってください。
- ・ 上記 6 項の C の測定は、測定対象 D に対して 90° になることが必要です。
- ・ A と C の長さが大きく異なると、測定エラーになります。

使い方

水平距離 C の測定が完了した時点で、D の距離の計算結果がディスプレイに表示されます。



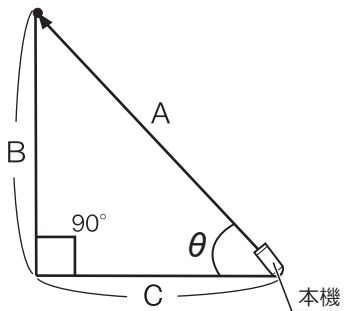
7. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。





※ 辺測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

自動測定

Aの距離を測定することにより、角度、垂直方向の距離（高さ）や水平距離が測定できます。

障害物にレーザー光が遮られて直接測定ができない場合や、反射に適した対象物がない場合に斜線Aの距離を測定して離れた場所の角度、垂直方向の距離（B）や水平距離（C）を測定します。

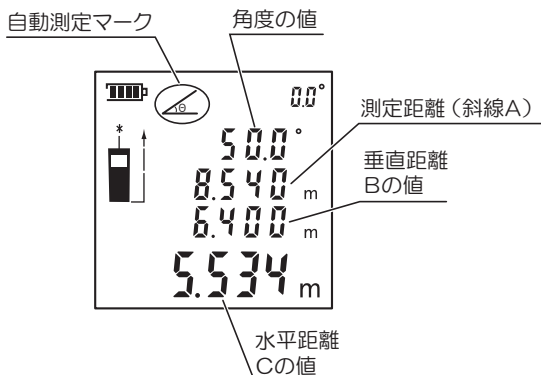


1. 測定する基準を選択します。
（17ページ「基準を選択する」参照）
2. 測定モード切換ボタン（）を押して自動測定（）に設定します。
3. 測定ボタン（）を押して、レーザー光を照射させます。
ディスプレイにレーザー光照射表示（）が点滅します。

使い方

4. 斜線 A を測定します。

測定が完了すると、角度、垂直方向の距離 B や水平距離 C の計算結果がディスプレイに表示されます。

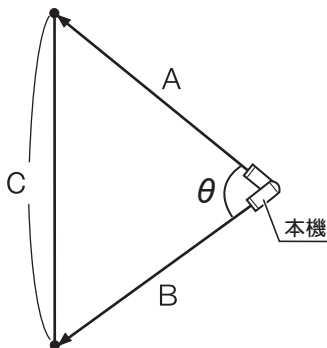






5. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

※ 自動測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

自動高さ測定

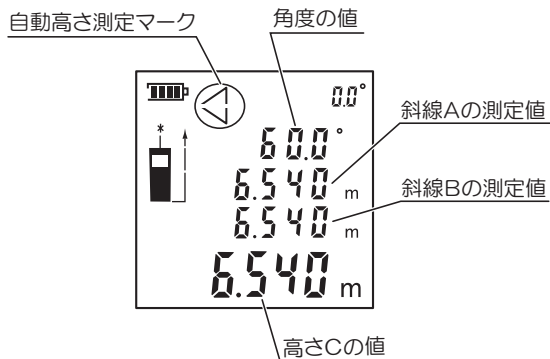
2ヶ所（2辺）の測定値により自動で高さが測定できます。



1. 測定する基準を選択します。（17 ページ「基準を選択する」参照）
2. 測定モード切換ボタン（) を押して自動高さレベル（) に設定します。
3. 測定ボタン（) を押して、レーザー光を照射させます。
ディスプレイにレーザー光照射表示（) が点滅します。
4. 斜線Aを測定します。
5. 斜線Bを測定します。

使い方

測定が完了すると、角度と高さCがの計算結果がディスプレイに表示されます。



6. 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

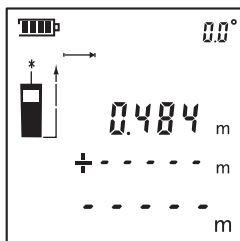
自動高さ測定機能は、推定距離を算出する機能であり、実測値とは異なります。

測定値の加算

「加算／減算ボタン」を使って、測定値の加算ができます。面積・容積も同じ方法で加算が可能です。

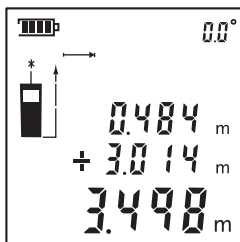
1. 測定を行ないます。
(21 ページ「測定する」参照)

2. 測定値がディスプレイに表示されたら、「加算／減算ボタン」を押して「+」を表示させます。



3. 2つ目の測定を行ないます。
ディスプレイの一番下に加算された値が表示されます。

4. 必要に応じ、上記の操作を繰り返し行ないます。



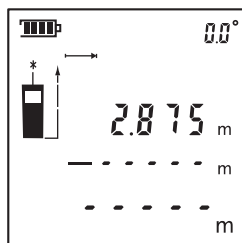
使い方

測定値の減算

「加算／減算ボタン」を使って、測定値の減算ができます。面積・容積も同じ方法で減算が可能です。

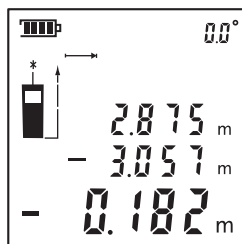
1. 測定を行ないます。
(21 ページ「測定する」参照)

2. 測定値がディスプレイに表示されたら、「加算／減算ボタン」を押して「-」を表示させます。





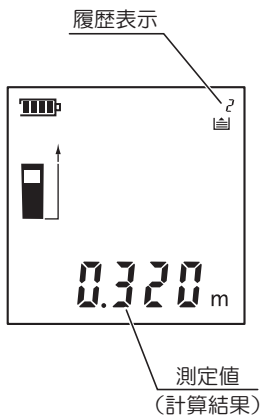
3. 2つ目の測定を行ないます。
ディスプレイの一番下に減算された値が表示されます。

4. 必要に応じ、上記の操作を繰り返し行ないます。



履歴機能

履歴ボタン () を押すと、直近の測定値 (計算結果) が表示されます。さらに、履歴ボタン () を押し続けると測定 50 回分まで遡れます。

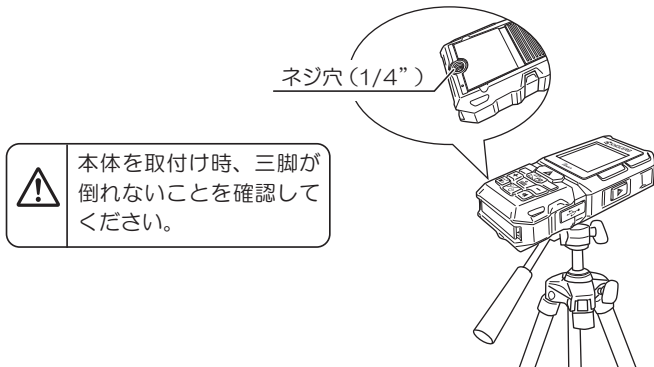


電源 / クリアボタン () を押すと、距離測定モード () に表示されます。

使い方

●三脚を使用して測定する

本機裏側のネジ穴を使用して、市販の写真撮影用三脚に取付けます。



■本機の精度チェック

誤って落としたり、ぶついたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行なってください。

・測定作業後に精度比較チェックが行なえるよう、すべての測定値を記録しておいてください。

1. すでに寸法がわかっている1～10m程度の辺を選びます。
(室内幅、ドア用開孔口などの変化することのない場所)

2. この辺の測定を10回続けて行ないます。
寸法値の許容誤差は、 $\pm 2.0\text{mm}$ ※です。

※ 悪条件下(強い太陽光、反射の弱い対象物、不安定な周囲の温度)での測定では、 $\pm 5\text{mm}$ までの誤差が生じることがあります。

困ったときは

■故障かな？と思ったら

- ①「取扱説明書」を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ②次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症状	処置
エラーコードが表示される	下記のエラーコード一覧を参照してください。
電源が入らない	電池は正しくセットされていますか？ → 電池の向きに注意して正しく取付けてください。
	電池が放電していませんか？ → 新しい電池と交換してください。

エラーコード	原因	対処法
Error 204	データ演算エラー	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。
Error 208	電流値が高いです	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。
Error 220	電池残量不足	新しい乾電池と交換してください。
Error 255	受信機への信号が弱すぎます	適切な反射が得られるように、測定対象物へ白い紙を覆うなどしてください。また、測定可能範囲外の可能性があります。測定可能範囲内で測定してください。
Error 256	受信機への信号が強すぎます	適切な反射が得られるように、測定対象物へ白い紙を覆うなどしてください。また、強い光をレンズへ照射しないで下さい。
Error 261	測定可能範囲外です	測定可能範囲内で測定してください。
Error 500	データ読取りエラー	電源の ON/OFF を何度か行ない、再度測定してください。

※ これらの処置を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保守と点検

■保管

- - 10℃～ 50℃の範囲で保管してください。
- 本機を保管・運搬する際には、必ず付属のポーチに収納してください。
- 本機はきれいな状態を保ってください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズはメガネやカメラレンズなどの光学補助機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
 - ・レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
 - ・レンズは指で触れないでください。
- 使用しない本機や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。
 - ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
 - ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - ・温度が急変する場所には保管しないでください。
 - ・振動する場所には保管しないでください。

■ 廃棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きるおそれがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、けが、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用するおそれがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

■ 修理について

・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

保証規定

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - (a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - (b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - (c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - (d) 水の浸入による故障または損傷
 - (e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - (f) 業務用およびそれに準する使用をされて生じた故障または損傷
 - (g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - (h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - (i) 本書のご提示がない場合
 - (j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - (k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - (m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - (n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - (o) 商品分解状態でのお持ち込み
4. 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役員経費等）の責任は負いがねます。
5. 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
6. 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

保証書

持込修理

モデル名		LDM-610	製造番号 (本体の銘板をご確認ください)	
お客様	お名前			
	ご住所 〒 電話 ()			
お買い上げ日			保証期間 (お買い上げ日より)	
年 月 日			1 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号			

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市長久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリヨービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツルズ販売株式会社

本社
〒468-8512 名古屋市中白区久方1-145-1
TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141
<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

